



学校通信

令和6年11月29日
東京都立葛飾盲学校長
岩下 桂郎
(第8号)

御参観ありがとうございました

校長 岩下 桂郎

11月の初めは夏日となりエアコンを使用する日もあるほどでしたが、下旬になると急に気温が下がり始めました。同じ一本の木でも、葉によって緑、黄色、赤と色づき方がまちまちで、今年の気候に戸惑っているように見受けられます。

さて、11月9日に開催されました学芸会では、保護者の方々、地域の皆さま、卒業生の方々など多くの皆さまに御来校いただき、盛大に行うことができました。今年度の学芸会のテーマは「ひびけ！個性いっぱい！」でした。幼稚部では、自分の得意なことを生かし、力を合わせて「大きなかぶ」を引き抜く発表が行われました。小学部では、スイミーが自分の黒い姿を強みにして仲間たちと協力し、大きなマグロに立ち向かう内容でした。そして中学部では、オリンピック・パラリンピックをテーマに、生徒一人一人の可能性が世界へ広がっていく未来を感じさせる発表でした。それぞれの発表において、一人一人が懸命に取り組む姿は、我々観る者の心に響き、感動を与えてくれました。

また、観客として参加した子供たちの姿にも感銘を受けました。他の学部の発表を一生懸命応援する姿や、演じる仲間へ勇気を与える様子は素晴らしいものでした。視覚に障害があるからこそ、言葉で伝えることの大切さを子供たちは深く理解しています。この日の応援は舞台に向けたものでしたが、これがさらに広がり、本校の幼児・児童・生徒の声や姿が社会を勇気づける光となることを期待しています。これからも言葉を大切に、「伝え合う」ことでお互いを支え合う指導を進めていきます。

いよいよ二学期も残りひと月となり、学びをまとめる時期を迎えます。今学期を振り返りながら、子供たちの成長を確認していきたいと思えます。これから本格的な寒さが到来し、インフルエンザの流行も心配されます。体調管理に十分注意しながら、寒さに負けず頑張っていきましょう。

「学芸会を終えて」

前回の学芸会は学部ごとの分散開催でしたが、今回は多くの来場者を迎え、無事に開催することができました。各学部の舞台発表では、これまでの練習の成果を存分に発揮することができました。クラスの友達と協力して作り上げた小道具、大道具も舞台を彩る素晴らしい出来栄でした。また、青葉中学校吹奏楽部の演奏も大いに盛り上がり、音楽を通して交流を図ることができました。最後を締めくくるフィナーレでの全員合奏は、会場が一つになり、素晴らしい時間を共有することができました。

保護者の皆様、お忙しい中、御参観いただき誠にありがとうございました。

(学芸会担当 山藤)